

植草学園大学発達教育学部のブックレット

障害と学生のリアル

「きょうだい」って何？

「インクルーシブ教育」を学び・実践する植草学園大学には特別支援教育に関心のある学生が毎年たくさん集まります。きょうだいに障害のある学生もいます。大学で自分と同じ「きょうだい児」と出会い、授業で障害について学ぶうちに本音を出せるようになり、「人生が変わった」と目を輝かせる男子もいます。

悩みや不安もあります。きょうだいのケアを毎日のようにしている学生もいます。そんな学生たちが本音を語り合ったブックレット、それが『障害と学生のリアル～「きょうだい」って何？』です。学生たちの苦楽を間近に見ている先生がインタビューし、座談会の司会をしました。

「きょうだい児」はあまり注目されてきませんでした。しかも、20歳前後のリアルな日常や本音がきょうだい児自身の口から語られるのはあまり例がありません。「親亡き後の不安」は親の切実な課題ですが、きょうだいは親亡き後も不安や負担を抱えながら長い人生を歩んでいくのです。

ちょっと苦くて、愛おしい。きょうだい児のことを知ってください。

障害と学生のリアル

「きょうだい」って何？



植草学園大学発達教育学部／インクルーシブ社会創成センター 編著  植草学園大学

A5判・カラー・62P
植草学園大学発達教育学部／インクルーシブ社会創成センター 編著



植草学園大学発達教育学部とは

現在、特別支援教育は、特別支援学校や特別支援学級などの特別な場だけではなく、小中学校等の通常の学級でも行われています。一人ひとりの子どもが、その人らしい充実した生活を送れるようにきめ細やかに寄り添っていく特別支援教育の考え方や実践方法は、幼稚園や小学校等の指導でも必要とされているのです。本学発達教育学部では、すべての学生が特別支援教育の理念を学び、保育者や教員としてこの教育を踏まえた実践ができるよう、さまざまなプログラムを用意しています。（植草学園大学HPより）

「いんくる♡教育」という植草学園大学発達教育学部の先生たちのコラムをSNSで連載しています。
こちらぜひ見てください。

